

3. 参加者	福島孝雄、錦織稔、石橋広信 計 3 名
4. 添付書類	1. 行程表 2. 報告書 3.

(所感)
公明党会派として8年ぶりの北海道行政視察でした。天候にも恵まれ絶好の視察日和でした。
大都会の札幌市、出雲市とほぼ人口が同じ千歳市、農業と産業が一緒になったあまり例のない帯広市
等々、北海道の魅力ある地域をたつぷりと視察させていただきました。
どこの行政も自信満々に現在の取組みを紹介されました。きっと確かな手ごたえを感じていらっしゃる
のだと思いました。その中心にいらっしゃるにのが若手のメンバーでした。
今回、いずれも「どこまでも市民の皆さまのための行政」という考え方が浸透している行政視察でした
ので大変勉強になりました。
この度の視察にて勉強させていただいた内容を今後の政治活動に活かして、どこにも負けない出雲市
構築に向けて精進して参ります。大変にありがとうございました。

北海道行政視察報告 No1

◆千歳市

人口 97,103 人 (R3)、市民平均年齢 42.9 歳 (北海道で一番若い町)
人口増加率道内第一位の 2.2%(自衛隊の町なので若い家族が多い)
市議会議員数 23 人、

(サーモンパーク千歳)

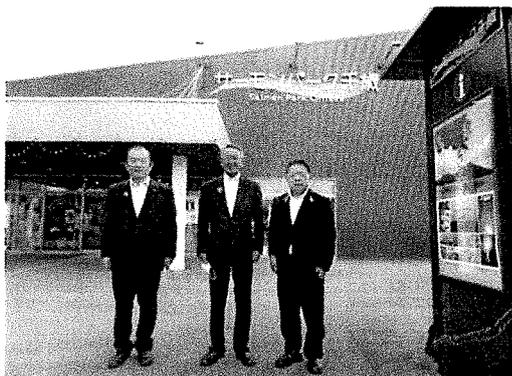
・北海道「道の駅」ランキング「トイレがきれいだと感じた道の駅」1 位、「家族と訪れたい道の駅」1 位の目的型道の駅。利用客の利便性の強化においては、トイレの機能充実、観光情報の提供。アメニティ性の強化については、休憩施設、特産品、土産の提供、四季折々のイベント開催。

・民間活力導入の課題は指定管理者の募集をしても 1 回目は参加者がなかった。収入見込を変更して対応した。指定管理料は 0 円。

・魅力ある道の駅にするためには、商店街との連携強化や千歳ならではの商品開発と提供が必要である。冬季には 1 m 以上の積雪があり駐車場は雪の山が出来て実質閉店の状態になる。閑散期対策が必要である。

・物販の販売について千歳空港の売店との差別化はない。北海道旅行の玄関口としての役割としては、パンフレットやサイネージなどで紹介している。

・農産物の販売は JA をとおしての契約になっている。契約農家が直接販売所に持ち込み販売所で売れ残りを処理している。販売農産物は年間を通して計画的に納品されている。



北海道行政視察報告 No2

◆札幌市

人口 1,970,407 人（令和 4 年）、上水道普及率 99.9%、下水道水洗化率 99.9%、令和 4 年度会計予算額 1,805,025,000 円（単位：千円）
市議会議員数 68 人

（DX に関する取り組み）

出雲市でもデジタル化の推進が進む中、札幌市は民間企業と提携し、「行政事務センター」を開設、DX 先進地として成果を上げています。

出雲市では「DX ロードマップ」が作成され、それに基づいて進められる訳ですが、実際にはどのような業務がデジタル化され、市民にとってどのようなメリットがあるのか見えづらい状況です。

実際に取り組まれている先進地を視察する事で行政の将来が見えてくるのではとの思いで視察をして参りました。

札幌市では令和 3 年 4 月 30 日～令和 6 年 3 月 31 日（2 年 11 ヶ月）を契約期間として外部事業者「凸版印刷（株）」とプロポーザル（公募型企画競争）により契約をしています。契約額は 172,934 千円（令和 4 年度）です。

「行政事務センター」は凸版印刷（株）が設立運営しています。

「行政事務センター」の目的は、市民サービスの向上と業務の効率化です。

そのために、2019 年 6 月と 2021 年 2 月に「全長業務量調査」を実施し、専門性が必要な「コア業務」と必要のない「ノンコア業務」を分析しました。

結果、「ノンコア業務」が全体の約 36%（760 万時間）そのう

ち、約 85% の 650 万時間を正規職員が担当していることが判明しました。

この「ノンコア業務」の B P O 受け皿として「行政事務センター」を開設しました。

<現在の委託業務一覧>

・就学援助業務 ・医療費助成受給者証年次更新業務 ・奨学金業務 ・敬老優待乗車証新規発行業務 ・高齢者インフルエンザ予防接種予診票チェック業務 ・高額介護サービス費支給決定通知書業務 ・市税口座振替依頼書処理業務 ・相続関係調査に係る戸籍謄本等請求補助業務 ・事業系廃棄物減量計画書等処理業務 ・畜犬登録情報等入力業務 ・口座振替依頼書処理業務(保険) ・国保、後期被保険者証更新業務 ・特別児童扶養手当業務が有り、今後更なる業務追加を検討中とのことでした。

現状把握から委託範囲の検討、費用対効果の試算もサポートしてもらい、各部局の予算要求業務負担の軽減と機動的な業務追加が可能になるとの事でした。

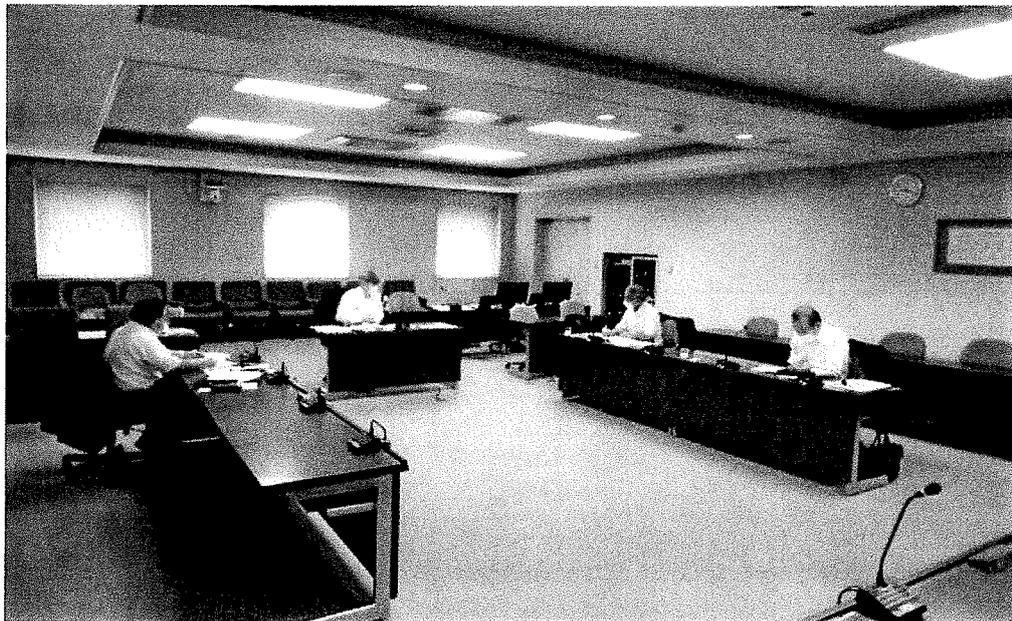
事業所とは単なる受託者ではなく、改善提案(B P R)を業務に取り込むことで「継続的な業務改善」が図られるそうです。

セキュリティについても、自治体よりはるかに厳しく管理されており、信頼できることが分かりました。(施設のカメラ撮影は禁止でした。)

D X の目的は、完全なオンライン化による行政の無人化ではなく、業務の効率化で空いた時間を「市民サービス」を広げることであり、デジタルが苦手な高齢者等の市民にも丁寧に対応することが目的です。

今回の視察で行政担当者の説明を受け、行政事務センターの施設や仕事内容を実際に見る事で、デジタル化の必要性や時代の変化を垣間見ることが出来ました。

今後の出雲市の将来に絶対必要であり、出雲市独自というより、近隣自治体と連携し、民間事業者のノウハウを利用しながら業務の効率化を図るべきだと感じました。



北海道行政視察報告 No3

◆帯広市

人口 170,000 人（H27 年）1 市 16 町 2 村で十勝、人口 33.3 万人
市議会議員数 29 人、年間 7 回の定例会（R3 の場合）

（フードバレーとかち）

明治 16 年晩成社（十勝の開拓を目的とした株式会社）による入植の歴史。

十勝の耕地面積 2,500 ㎡。乳用牛、肉用牛 44 万 8 千頭（十勝人口より多い）小麦、てん菜、馬鈴薯、小豆等々

輪作による有効農業。安心、安全を目指して Gギャップに取り組む。

有機 JAS の取組みは今一つ（広すぎるから）

食料自給率 1,339%（世界でもトップクラス）

コンセプトは地域の強みである農業を成長させそれを基盤とした新たな産業を創出し十勝から世界に向けて価値を発信する。

フードバレーの由来：オランダのフードバレー、アメリカのシリコンバレーより

フードバレーとかちの推進協議会（産学官金 42 団体より構成）

★十勝定住自立圏形成

★北海道フード特区国際戦略総合特区指定

★十勝バイオマス産業指定都市認定（バイオガス事業の推進）

企業との連携：meiji（明治）、JAL、Pasco 等々

ロゴマークは使いたい人なら誰でも OK

農家経営面積約 40ha でヨーロッパの農業国並みの規模（集積化）

しかしまだまだ世界のトップクラスには遠く及ばない。

《参考内容》

バイオガス事業の取組み（SDGs）

大手企業との深い関わり（原料の品質）

輪作により収量・安全性の向上、リスクヘッジ

先進農業の推進

十勝農業産出額 3,735 億円で全国レベル 5 位クラスで伸び率 45.2%

（全国平均 8.5%）

とかちイノベーションプログラムでは人材育成・新たなビジネスアイデア・事業の付加価値を高めること。

地域に新事業の種を生み出すシステムあり(地域金融機関、自治体、産業支援機関、シンクタンク等)

挑戦者たちが集うリアルな場が十勝 → 新設会社伸び有り

人口減少率(11.6% 札幌市に次ぐ低さ)

高速道路の充実。

目標の高さ: アジアの食と農業の物流拠点に!!

◆帯広市

(デマンド型交通)

現在、市街地(北側)を路線バスの十勝バス、拓殖バスの2社が走る

農村部(南側)は大正交通と毎日交通のデマンド方式乗合バスが走る。

以前は南側も路線バスが走っていたが利用者減少のため北側のみとなる

農村部(南側)の大正地区、川西地区の場合・・・

大正地区: 「のりあいタクシー」9人定員のワンボックスカー利用
電話にて受付、ドアツードア(但し、農村部のみで市街地は規制あり)

川西地区: 「あいのりバス」マイクロバスにて地域内の指定の停留所を走る。

農村部では自宅前などどこでも乗車が可能。

利用者が伸びている。 → 両地区の利用促進の取組み有り

・大正地区: 登録証や時刻表を携帯できるポーチを無料配布

・川西地区: 利用客は中学生が多く、学校側と登録や予約を行い部活動後の足として活用

その他、高齢者おでかけサポート事業あり(対象者は運賃無料)

《参考内容》

地域ごとに路線がはっきりしており交通企業がお互いのエリアを邪魔することなく運行できる。

人口の多い地域と少ない地域の有効な手段による戦略
バス交通活性化基本計画を通じて検討機関（バス交通従事者・学識
経験者・市民、利用者・バス事業者・帯広市・関係機関）による実
証実験運行などを通じての取組実現。

少々時間がかかっても、やはりドアツードアは魅力有り。



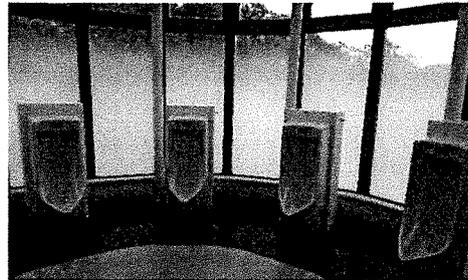
サーモンパーク千歳



サーモンパーク千歳内売店



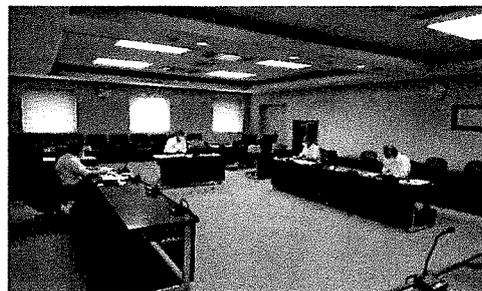
千歳市役所での説明



サーモンパーク千歳の名物トイレ



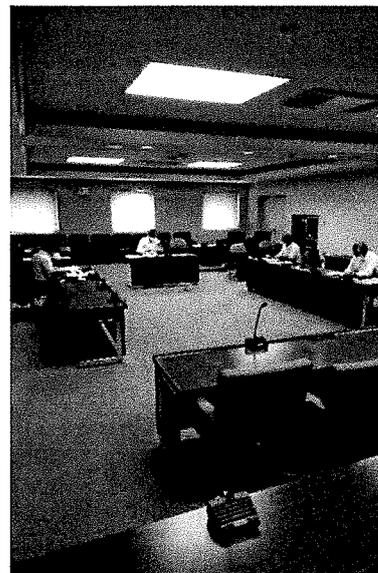
サーモンパーク千歳の人気キャラクター



札幌市役所での説明の場



札幌市役所の前にて



帯広市役所にて説明を受ける



帯広市役所議場にて

令和 4年 8月 4日

出雲市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 福島孝雄



視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和 4年 8月 8日 ～ 令和 4年 8月10日（ 3日間）	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	千歳市	●サーモンパーク千歳 ①北海道観光の起点としての役割、取り組み ②スタンプラリー2022 ブック版・デジタル版 ③冬季の誘客企画と工夫、地元農家の出荷方法と契約
	札幌市	●DX の取り組み ①デジタル改革に関しての方針、方向性 ②スマートシティ関連事業の事業について ③DX 推進のための人材育成
	帯広市	●フードバレーとかち ①販路拡大のためのマーケティング・販売戦略 ②農産物の生産・加工ロゴマーク使用について ●デマンド型交通 ①デマンド型を採用された経緯 ②利用者の利用状況と特徴 ③民業圧迫に関する課題
3. 参加者	福島孝雄 錦織 稔 石橋広信 計 3 名	
4. 添付書類	行程表（別紙）	



出雲市議会公明党 様

日程表(案)



ツurisuto Ito株式会社

〒693-0058 島根県出雲市矢野町924-1
 TEL(0853)21-0113 FAX(0853)21-9880
 担当：高橋 尚也

旅行先	北海道視察 2泊3日	行程	備考
1	8/8 (月)	出雲空港 9:20発 → → → 羽田空港 10:45着 / 11:30発 → → → 新千歳空港 13:05着 / 13:30発 → → → 千歳市役所 15:30着 / 16:30発 ※レンタカーに乗り換え 13:30～予約 ホテルルートイン千歳駅前 16:45頃	ホテルルートイン千歳駅前 ☎:050-5847-7579 1泊朝食/シングル
2	8/9 (火)	ホテル朝食後 9:00発 → → → 札幌市役所内 視察 10:30 / 11:30 → → → 昼食休憩しながら、帯広方面へ 帯広市役所 9:00 / 11:00 → → → 昼食休憩後、帯広空港へ プレミアホテル-CABIN-帯広 宿泊 16:00頃	プレミアホテル-CABIN-帯広 ☎:0155-66-4205 1泊朝食/シングル
3	8/10 (水)	ホテル朝食後 8:30発 → → → 帯広市役所 9:00 / 11:00 → → → 昼食休憩後、帯広空港へ レンタカー返却手続き 14:30までに 帯広空港 → → → 羽田空港 → → → 出雲空港 19:50着 14:20 / 15:20発 17:00着 / 18:25発	～各自帰路へ～ お疲れさまでした。
■記入例 / バス ≡ 列車 私鉄 +++++ クエ-ブル-ロー-アライ 徒歩 ～ ～ ～ フォル- → → → 航空機			

令和 4年 7月 4日

出雲市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 福島孝雄



視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施しますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和4年 6月30日 ～ 7月1日	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	<会場> 東京ビッグサイト	<テーマ> 自治体DX展 視察
3. 参加者	福島孝雄 計 1名	
4. 添付書類	行程表（別紙）	



(所 感)

市議会デジタル推進特別委員会の有志等により「自治体DX展」を凸版印刷株式会社・株式会社モンスターラボの関係者の皆さんと共に、東京ビッグサイトに見学に行きました。今まで、何回か「デジタル推進特別委員会」に於いて、行政のデジタル化について勉強をして参っていますが、具体的に何がどう変わるのかが見えない状態でした。

今回の「自治体DX展」では、数え切れないほどのメーカーが、様々なテーマをもとに取り組みや機材等を展示しながらプレゼンテーションをしていました。

例えば、「AI音声文字起こしによる自治体の業務改革」「防災放送媒体多言語一斉配信システム」「自治体DX推進の道しるべ」「DXが創るまちづくりの新たなベクトル」「自治体と市民のデジタルタッチポイント整備とその整備とその意義」など、各メーカーが取り組み事例を通して説明をしていました。

始めに、凸版印刷のブースに案内され、「DXのちからで、ひと・地域・社会を元気に」とのテーマをもとに「ハイブリッドBPOサービス」「地域Pay」等の説明を受けました。

「ハイブリッドBPOサービス」では、札幌市行政事務センターで「アナログ、デジタル双方のデータを活用した事務代行サービス」が導入されていて作業の効率化が図られていました。

「地域Pay」では、高知県香美市で導入され、地域で利用できる各種商品券やお買い物ポイント等をまとめてデジタル化し、地域のキャッシュレス化を実現する決済プラットフォームについて説明を受けました。

「地域Pay」の特徴は①キャッシュレス決済やポイントサービスなどをまとめて1つになる。

②低コストのため自治体で黒字運用が可能となる。

③デジタル化・キャッシュレス化で行政サービスの運用負荷を軽減する。など様々なものに活用できる可能性があり、近年市民向けの様々な交付金や商品券の交付にも活用出来、マイナンバーカードと併せて利用価値は高いと感じました。

その他「議事録の作成時間を約4割削減できるAI音声文字起こし。」のブースでは、長野県での取り組みの紹介があり、いままで議事録の作成に費やす時間が、実証実験で、約4割の削減ができ、実装に踏み切った事を伺い、出雲市での導入の必要性を感じました。

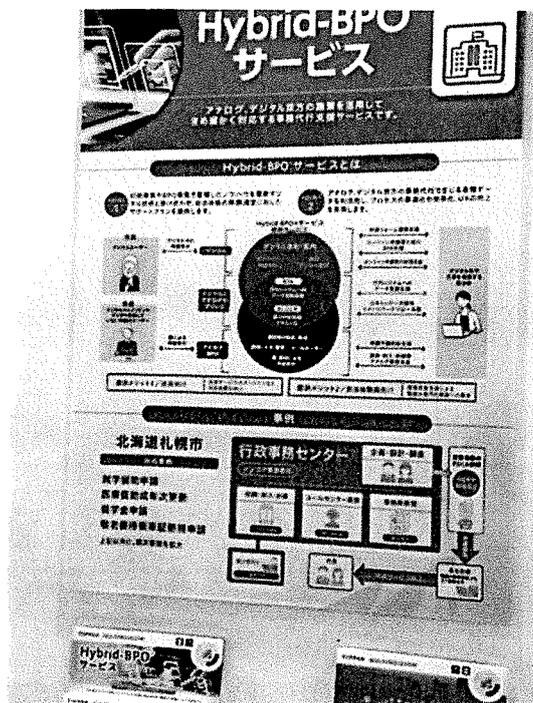
今回の視察を通して、時代の変化をまざまざと感じました。それと同時にアナログ世代の方に如何に理解をして頂けるのかが自治体でのDX導入の1つの課題であることも感じま

した。

一方でデジタル化によるSDG sの取り組みは一体であることも感じました。

便利イコール排除ではなく、「誰一人取り残さない」ためにDXは進化していくとの説明もあり、安心しました。

今回の視察を通して出雲市議会での「デジタルファースト推進特別委員会」の役割は重要であることも実感し、今後益々の勉強も必要であると感じました。



令和 4年 6月 25日

出雲市議会議長 様

会 派 名 公明党

代表者氏名 福島孝雄



視察研修について（申請）

このことについて、下記により実施しますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日 程	令和4年 6月30日 ～ 7月1日	
2. 視察研修先 及び視察研修 目的	<会場> 東京ビッグサイト	<テーマ> 自治体DX展 視察
3. 参加者	福島孝雄 計 1名	
4. 添付書類	行程表（別紙）	



2022/6/30(木)	<p>JAL284 普通席 出雲16:20発→東京(羽田)17:50着</p> <p>↓</p> <p>モノレール</p> <p>JR</p> <p>↓</p> <p>新橋駅</p> <p>宿泊 銀座グランドホテル</p>
2022/7/1(金)	<p>新橋</p> <p>↓</p> <p>ゆりかもめ</p> <p>東京ビッグサイト 自治体DX展 視察</p> <p>↓</p> <p>ゆりかもめ</p> <p>↓</p> <p>モノレール</p> <p>↓</p> <p>羽田</p> <p>JAL285 普通席 東京(羽田)16:55発→出雲18:15着</p>